

令和6年度熊本スーパーハイスクール（KSH） 北稜高校の取組の概要

1. 研究の目的

5学科の特色ある教育活動を通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けると共に、地域を知り郷土愛を持った、将来の地域社会を担い活躍できる人材を育成する。

2. 事業の紹介

① 4つの学科の授業を体験できる他学科体験（1年）

② 11のグループに分かれて行うテーマ学習（2年）

③ 将来の職業を見据えたキャリアプランニング（3年）

本校ならではの！

1つの学科の授業3時間を1セットとし、どの学科の生徒も他学科の授業を体験し、他学科の学習について知る機会となりました。

興味ある分野を深く探究！

「科学」「言語」「医療・福祉」といったグループに分かれて、生徒自身が興味のある分野について研究し、北稜祭でも展示発表しました。

キャリア講演会と

進路希望別グループ学習
（株）ロッキーの人事担当の方から講話をいただき、今後社会人として必要とされる能力について学びました。



園芸科の授業体験



グループ内中間発表会



キャリア講演会

3. 2年生のテーマ学習の取り組み（一部）

2年生のテーマ学習では、学科の枠を超えて、テーマ別に編成された11のグループで活動しています。9月には研究の中間発表を各グループで行い、現在さらに研究を深め、論文の作成に取り組んでいます。また、3月上旬には外部の審査員を招き、代表者が研究発表を行う予定です。 *下は北稜祭での展示

グループ	テーマ
1. 社会科学	「カメラマンが減少している理由」
2. 地域活性	「玉名市の活性化に求められるものは」
3. 自然科学	「多様なトマトの色素の違い」
4. 建築・機械	「人間が一番住みやすいと感じる家とは」
5. 幼児教育	「子どもはなぜアンパンマンが好きなのか」
6. 農業	「生育条件が不要な野菜を調べる」

